

### 宇佐駅のバリアフリー化を JR九州へ四度目の要望 宇佐市長、地元議員（永松、用松、和気）等が陳情

平成29年7月21日、是永宇佐市長、JR宇佐駅の地元市議会議員の永松郁議員、用松律夫議員、和気伸哉議員と北馬城地区まちづくり協議会後藤文利会長がJR九州大分支社会議室で同支社の太田副支社長、渕上総務課長、宮城営業課長と会談し、JR宇佐駅のバリアフリー化（駅構内にエレベーター設置等）を早期に着手し、完成させるよう要望した。

当日の会議室は、先ず和気議員が宇佐駅のバリアフリー化の要望は今回で四度目である。2年前に宇佐市長、豊後高田市長が、また昨年3月に地元宇佐駅の市議会議員3人が、そして同年8月に宇佐駅の地元宇佐中学校区の区長会長3人（宇佐・北馬城・封戸の代表区長）が地元の声を要望書に託し、要望した経緯を説明し、懇談が始まった。

先ず、宇佐市長が挨拶を兼ねて話した。宇佐市には、公共交通機関としてJRの駅が6駅ある。そのうち特急停車駅が2駅ある。柳ヶ浦駅はJRのご配慮を受け、バリアフリー化できた。有難うございました。

宇佐駅のバリアフリー化について、地元住民の要望が強いので設置方お願いしたい。宇佐駅の乗降客は1日千人をわる厳しい状況の中にあって、国のバリアフリー化推進方針、「1日の乗降客3千人以上の駅から順次、平成32年度までにバリアフリー化する」は承知しているが、例外的に地元の声、要望等を汲んでバリアフリー化している事例があるようです。宇佐駅を例外的に取り扱い、設置計画の隙間に組み込ませ善処して欲しい。

これに対し、JRの役員は、エレベーターの設置はバリアフリーの法律によって平成32年度までに1日の乗降客3千人以上の駅はバリアフリー化することになっている。大分支社内で条件を満たしながら設置していない駅がまだ4駅あるのが現状です。バリアフリー化はお金がかかる。自治体に協力を願っています。

現時点では、「いつします」と言えないが地元の声を上げてください。計画する上で参考になります。

これに関連して、当まちづくり協議会会長が地元宇佐駅の区長会長として、昨年8月に、「宇佐駅が更なる無人時間帯の拡大をしないように」、「宇佐駅にエレベーター設置を」等を要望した。その時、JRから駅にエレベーターが設置、完了するまで3年かかる。まず、計画で1年、設計で1年、竣工で1年。それで国のバリアフリー化の設置基準を基本に計画していく。例外的に地元住民の声を設計経過に割り込ませ、設置した事例があると聞いた。

私たちのまちづくり協議会は地元住民として、JRへ要望の声を上申すると共に「宇佐駅のためになる」ことをしましよと決めていろいろ取組んだ。例えば、昨年秋から正月過ぎの間に、プランター57個に季節の花を植え、駅を花で飾る花いっぱい運動に取り組んだ。また、案山子の作品展も実施した。

これも地元住民が「宇佐駅を良くしたい」という思いの証であることを受け止めていただきたい。バリアフリー化計画の隙間に宇佐駅を割り込ませていただき、宇佐駅のバリアフリー化実現をお願いしたいと話した。

JRの役員は、地元の皆様にお世話になっています。地元住民の声は受け止めています。と言った。

また、永松郁議員、用松律夫議員、和気伸哉議員はバリアフリー化を望む地元住民の声をそれぞれ自分の言葉で熱意を込めて強く要望した。

## 宇佐駅のトイレのリニューアル改装は！

過日の当まちづくり協議会役員会議において役員から要望のあった宇佐駅のトイレの改修計画について、前期会談の席上で要望したところ、JR 役員は 29 年度には宇佐駅のトイレのリニューアル改装う計画は入っていません。支社内の豊肥線、久大線の沿線駅の中には、トイレを回収しなければならない駅がたくさんあります。会社の財政が厳しいので大変です。近い内に、宇佐駅のトイレの現状を視察して検討すると言った。



## 第 2 回宇佐クロダマル物語 種まき体験を 7 月 2 日（日）に実施した

平成 29 年 7 月 2 日（日）、昨年に引き続き宇佐クロダマル物語種まき体験会を実施した。大雨の続く中、2 日の前後は天候に恵まれ 33 名の参加を頂き、盛大に実施できました。参加者の中には数名がリピーターという事もあり、作業は 1 時間弱で終わり、その後、日足の吉沢農園に行き、甘く、美味しいジュースを頂きながら、2 cm ぐらいの実に成長したミカン園で説明を聞き、感動する都会っ子も大勢いました。

甘いミカンをつくるポイントは収穫前には水を控えることだそうです。

最後は、橋津公民館で婦人部の手厚いおもてなしを受け、和気藹々と親睦を図ることができました。次の枝豆収穫体験は 10 月 22 日の予定です。



植付け



記念撮影



ミカンの実



婦人部のおもてなし料理